



杉並区立松溪中学校同窓会ニュース

§1 ひらきともお 平木協夫さんが新同窓会長に就任されました。

松溪中学同窓会は2019年2月17日開催、第22回世話人会において、同窓会長の労を新たに第13期卒業生平木協夫さんへお願いしました。ここに平木新会長をご紹介します、今後は平木さんのもと、同窓会活動のますますの発展

にご支援、ご協力いただくことをお願い申し上げます。

これまで5年間にわたり同窓会復活に献身され、牽引してこられた矢代前会長に心から感謝を申し上げます。

会長就任のご挨拶



13期(昭和38年卒業)の平木協夫(ひらき・ともお)でございます。松溪中学校同窓会の矢代捷会長のご退任に伴い、今年度から同窓会長を務めることになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

松溪の同窓会活動は長く途絶えていましたが、5期の矢代様が“復活”を提唱され、「松溪中学校同窓会」が3年前の「オール松溪ホームカミングデー」開催を機に、復活というよりも新たに誕生しました。矢代会長と世話人会の方々のご尽力、校長先生をはじめ学校側の多大なご協力によるものです。その後、昨年は、第1期ご卒業で文化勲章受章者の芝祐靖氏と同氏率いる「伶楽舎」をお迎えし、母校アリーナで雅楽演奏会を開催することができました。

松溪中学校同窓会は形式よりも実質を大事にした緩やかな運営体とし、同窓生との連絡ネットワークを広げながら徐々に大きくしてまいります。

矢代前会長が打ち出した方針は「会則なし、年会費なし、連絡はEメールや電話とロコミで」というもの。私ども13期からみて先輩にあたる各期有志の方々が世話人として集まり、出席者が同窓会の取り組み方について話し合っています。

私はそうした会合に顔を出してきた一人で、

たまたま一番年下でした。「次の世代、その次の世代の同窓生へネットワークを広げていくため、若手(?)を新会長に」と仰せつけられ、お受けした次第です。13期はベビーブーム世代で、松溪中学校では10学級、約520人と卒業生が最多の期です。同窓会で「縦のつなぎ役」を果たすことは大切だと考えました。親しいクラスメイトが「横のつなぎ役」を買って出てくれたのも心強く、新会長の仕事に専心してまいります。

世話人会の皆様とよく相談しながら、主に次の3つの事柄に取り組んでいく方針です。

1. 同窓生の皆様への連絡網の拡充を目指し、そのための情報発信システムを整備。
2. 多くの同窓生が集まるきっかけとなるような魅力的な文化イベントを企画し、「ホームカミングデー」を隔年くらいに開催。
3. 手に取って読んでいただく「同窓会報」の編集発行について、可能性を求めて検討。

当然ですが、学校側のご協力を賜ってこそ、これら同窓会の取り組みを進めていくことができます。校長先生、副校長先生をはじめ、PTAなど母校関係の方々と、コミュニケーションをいっそう深めさせていただこうと思います。

松溪中学校同窓会の発展のために、微力ではありますが努めてまいります。先輩の方々、後輩世代の各期の皆様、ご支援ご協力と積極的なご参画を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「自己紹介」 昭和22年、荻窪2丁目（現・南荻窪4丁目）生まれ。桃井第二小学校から松溪中学校へ。放送委員になり、校庭に面した2階の放送室で放課後を過ごした。また、音楽部では杉並公会堂の指揮台に立ってビゼー作曲「アルルの女」のファランドールを演奏したことが懐かしい。たて笛、よこ笛、小太鼓、大太鼓といった10人ほどの「器楽合奏」で、今の吹奏楽部の活躍ぶりなどとは比べようもなく、何とも素朴なものだった。

現役時代約40年の職業は新聞記者。日本の北や南に転勤したのち、荻窪に戻ってきた。引退後になって松溪中学校と再び縁ができ、施設管理員を務めている。元気な高齢者の交代勤務で、早朝、学校のカギを開け、夜遅く閉める。責任は大きいですが、母校ならば愛着が増して楽しい。新しい校舎の隅々まで熟知していることが唯一の取り柄かもしれない。

§2 同窓会長交代の報告

前会長 5期 矢代捷

同窓会 再興の経緯について

2014年正月、往時の数学、物理の教諭、関口勲先生から私へ年賀状の返信を頂きました。日く「松溪中に同窓会がないのは寂しいから君たちの年代辺りで検討してみたらどうか」とのう文面に背中を押されて一念発起しました。以来初期の同窓会の方々（特に1期の会長経験者の方々及び関係者8期濱田様他）から当時の同窓会関係者の連絡先など、紹介及び資料をいただくことが出来ました。さらに西田小学校同窓会の世話人からも支援いただきましたが、小学校は同窓会がない学校も多く他の小学校からの支援は受けられませんでした



2018年9月16日 伶楽舎雅楽演奏会、芝 祐靖さんへ花束贈呈する矢代会長

した。活動開始以来数か月で賛同者有志の初顔合わせを実施し、活動組織として世話人会を発足し現在に至ります。同窓会活動にはできるだけ多くの同窓生消息の把握が必要です。個人情報保護法など多くの制約のなかで、母校の水野前校長先生、松木前々副校長先生、赤荻現校長先生、小松

前副校長先生から多大の協力を頂くとともに、母校 HP に同窓会のコーナーUP設置の許可をいただき、同窓会情報発信の拠点とすることができました。誠に有難く感謝しています。今年度からは新しく山下副校長先生をお迎えしてあらたな1年が始まります。

同窓会の内容及び実施活動経過について

同窓会は独自の HP 運営能力はありませんから、母校にお願いし、「杉並区立松溪中学校 HP」に同窓会コーナーを設け、同窓生へ情報発信して

おります。世話人会では母校の許可を得て同窓会コーナーを充実したものに改善してまいります。

今後の活動について

私は本年4月から会長を辞すことになりました。次期会長は13期平木協夫氏（特に生徒が多かった10組時代の世話人です）に引き継いでいただきます。母校も赤荻校長先生と山下新副校長先生の新体制となります。今後ますます同窓会活

動が学校と結びつき、卒業生がいつでも学校の行事に参加できるのを期待します。今までは主に1から16期辺りまでの世話人中心の活動でしたが、平木会長のもとで、より広く若い同窓生が参画同窓会へ発展しゆくことを希望します。

卒業生全員にお願いです

すべての卒業生へ同窓会からの連絡は卒業期ごとに世話人をご指名願ひ、その方が同期生連絡員として同期生へ同窓会情報を伝達願う体制としています。連絡手段は原則電子メールを利用していますので、同窓会は各期世話人の指名とその方のメールアドレスを登録していただくことが必要です。どうか積極的に同期世話人の労

をとって頂くことをお願いします。電子情報技術万能の時代に、我々年寄り集団も何とかついて行くべく努力しております。若い同窓生諸君のご助力を切にお願いします。最後に過去5年間私とともに同窓会復活・運営に努力いただいたすべての同窓生、世話人の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

§3 お知らせ

同窓会では”同窓会ニュース（春秋年2回作成）、”松溪だより（隔月）”を、電子メールを利用して、各期世話人を通じ同窓生へ配信しています。

また自分の卒業期に世話人不在の方や、直接受信したい方へも事務局より配信します。希望の方はどなたでも以下の同窓会連絡アドレスにお名前・卒業年度とメールアドレスをご連絡下さい。配信リストに登録し定期的にメールを配信します。

ご登録いただいたメールアドレスはミニ世話人会内に限り、最大の注意で守秘します。

同窓会メール sugi-shoukei-2014@shouwa-co.co.jp 又は

ミニ世話人会 kenricola@nifty.com（事務取扱：9期 小林）

杉並区立松溪中学校同窓会